



テクニカル・メッセージ

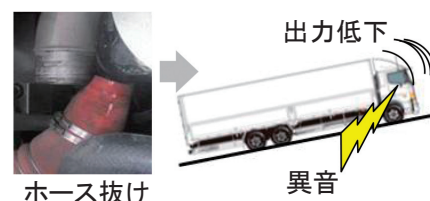
大中型トラック・バス インタークーラホース整備作業上の留意点について

排ガス規制対応、高出力化に伴う高過給化により、近年インタークーラホースは厳しい条件での使用環境となっております。その中でインタークーラホースが正しく整備されない事により、ホース抜けによるエンジンの出力低下、異音発生、またブローバイオイル滲みによる周辺部品の汚れの発生事例がありますので、インタークーラホース整備作業上の留意点についてご説明いたします。

1. 対象車両

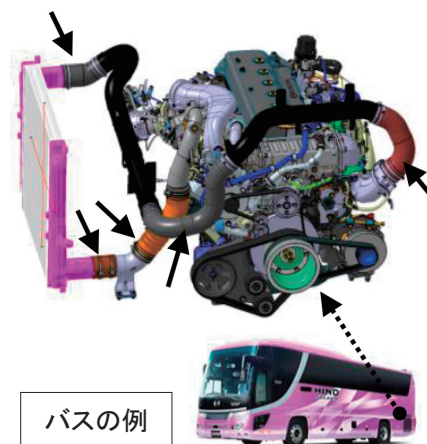
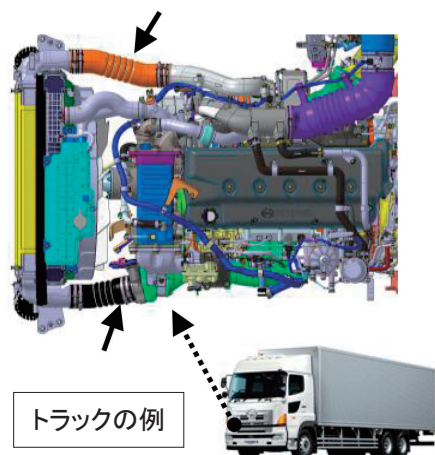
下記エンジン搭載車両

エンジン型式：E13C、A09C、J08E、J07E、J05E、A05C



2. 対象部位

下図の矢印で示したエンジン～インタークーラ間をつなぐホース



3. インタークーラホース整備作業時の留意点

1) 作業の準備

- ① 油分などで汚れのない清潔な作業手袋を使用してください。
- ② パイプ表面やホース内面の汚れをウエス等で拭き取ってください。

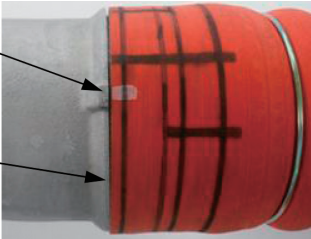
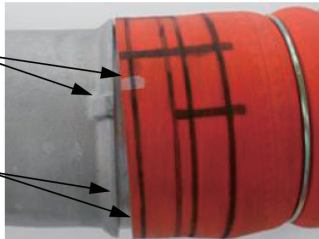
 汚れがない	 油分などで汚れている
○	×

2)ホース組付け

- ①ホース内径がパイプ径以上に広がったり、内面に傷や破れがある場合は、新品に交換してください。
- ②挿入助剤を使用する場合は、乾いた後に異物が残らない物を使用して下さい。
異物が残るものを使用すると、ホース抜けの原因となります。

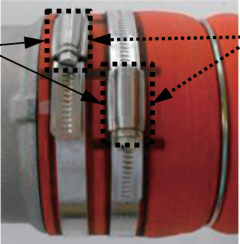
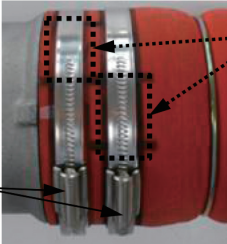
挿入助剤として使ってよいもの	挿入助剤として使っていけないもの
○ 水、パーツクリーナ	× 石鹼水、オイル、ウォッシュ液、LLC

- ③位置決めマークを合わせてパイプ側のストッパまで確実に挿入してください。

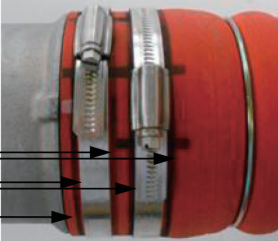
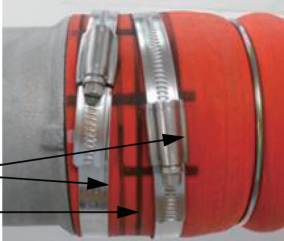
位置決めマーク 合っている ストッパに 突き当たっている  ○	位置決めマーク ずれている ストッパに 突き当たっていない  ×
---	--

3)ホースクランプ組付け

- ①クランプは再使用不可です。新品に交換してください。
- ②クランプはホースマーキングに合わせてください。ホース再使用時はクランプ痕に合わせてください。

クランプ ネジ部 マーキング (クランプ痕) マーキング、 又はクランプ痕と クランプネジ部が 合っている  ○	クランプ ネジ部 マーキング (クランプ痕) マーキング、 又はクランプ痕と クランプネジ部が ずれている  ×
---	--

- ③クランプの斜め掛けが無いように注意してください。

クランプ、マーキング、 およびホース端面が 平行になっている クランプ マーキング ホース端面  ○	クランプがマーキング に対して斜めである クランプ マーキング  ×
--	---

- ④クランプは、締付トルク:6N・mで締め付けた後に、10分以上経過してからもう一度締付トルク:6N・mで締め付けてください。それ以降の増し締めは不要です。締め過ぎによるクランプ破損に注意してください。

※ご不明な点がございましたら、最寄りの日野自動車販売店にお問い合わせください。